

オコゼ刺傷(080519)

オコゼに刺された男性を診察。手が腫れあがって激痛を訴えている。漁師さんの間でもオコゼが最も強烈に痛いという評判の魚である。年に数例はあるというので治療について勉強してみた。

参考文献 1 によると、カサゴ scorpionfish は Scorpaenidae 科の総称でカサゴ scorpionfish、ミノカサゴ lionfish、オコゼ stonefish が含まれるとされる。一般にオコゼ刺傷が最も重症となり、生命の危機をもたらすこともある。カサゴは中等度で、ミノカサゴは最も重症度が低い。刺傷は直ちに激しい疼痛を引き起こし、オコゼ刺傷による疼痛は数日間続く。全身状態は脱力、発汗、悪心、嘔吐、リズム障害、失神、低血圧、筋攣縮、線維束性攣縮、麻痺を認めることがある。オコゼ刺傷による死亡はまれだが、その場合、通常 6-8 時間以内に死亡する。

治療方法は直ちに熱傷を起こさない程度(45度)の湯に患部を浸し、30-90分続ける。この処置は毒液中の熱不安定成分を不活性化する働きがあるとされる。疼痛が再発する場合にはこの処置を繰り返す。寒冷療法は禁忌(何となく冷やしてしまいそうであるが、逆!!)オピオイド、局所麻酔処置、神経ブロックも効果的。破傷風の免疫の更新も行う。重度の刺傷、免疫不全患者に対しては抗生剤を使用する。



(オコゼ ↑ 参考文献 2 より引用)

アメリカやオーストラリアでは抗毒素が使用できるようだが、日本ではどうなのだろう……？ ネット上の情報によると、沖縄の那覇市沖縄セントラル病院で抗毒素をオーストラリアから輸入した例があるとの記載があったが、情報の出所不明であり、もしかして間違いかもしれない……。

An antivenom for stonefish (and severe scorpionfish) envenomation, made in Australia by the Commonwealth Serum Laboratories (CSL; 45 Poplar Road, Parkville, Victoria, Australia 3052; www.csl.com.au; 61-3-389-1911; fax: 61-3-389-1434), is available in the United States through the pharmacies of Sharp Cabrillo Hospital Emergency Department, San Diego, CA, at (619) 221-3429, and Community Hospital of Monterey Peninsula (CHOMP) Emergency Department, Monterey, CA, at (408) 625-4900.

参考文献 3 には症例報告が掲載されてある。肺水腫を呈した症例で人工呼吸器管理と抗毒素を用いた症例である。多くの症例で局所症状のみが問題となるが、中にはこのような転機をたどる症例もあるということは忘れてはならない。とくに、オコゼと聞いたら注意が必要。

参考文献 4 は抄録のみの確認だが、一般的な治療に関しては以下のように記載されている。

- **Local care**
 - immersing the stung area in hot water (79%)
 - in situ lidocaine injection (16%)
- **Analgesics (75%)**
 - morphine (54%)
 - anti-inflammatory drugs (47%)
 - ketamine (3.5%)
 - nitrous oxide (3.5%)
 - local or regional anesthesia (3.5%)
- **antibiotics (29%)**

日本では抗毒素治療ができる施設は限られていると思うので、対照的治療がメインになると思う。患部を温めるという治療は間違いなさそうであるが、そのほかの治療に関しては一定した見解はなさそう。患者の激痛を考えるとモルヒネの使用も考慮したくなる。局所麻酔、破傷風予防接種、抗生剤投与、NSAIDsも検討する必要がある。虫刺傷のように抗ヒスタミン薬を投与することに言及する論文はなかった。なんとなく処方してしまいそうだが……。

参考文献

1. 福井次矢ら(監訳). ハリソン内科学 第2版.東京,MEDSI,2006
2. Stonefish . Wikipedia last modified on 14 May 2008, at 01:54
<http://en.wikipedia.org/wiki/Stonefish>
3. Lehmann DF, Hardy JC. Stonefish envenomation. N Engl J Med. 1993 Aug 12;329(7):510-1.
4. Grandcolas N et al. Stonefish stings: difficult analgesia and notable risk of complications
Presse Med. 2008 Mar;37(3 Pt 1):395-400